

事業コード	H21-建-新-01		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(雪寒)		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	凍雪害防止事業(堆雪幅の確保)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492	
路線名等	一般国道341号		担当課長名	小嶋 宣英	
箇所名	鹿角市熊沢		担当者名	主幹兼班長 遠田 久雄	
総合計画との関連	政策コード	16	政 策 名	快適で災害に強い生活基盤づくり	
	施策コード	01	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	消融雪施設等整備率(累計)	

## 1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H25 (4年)		総事業費	4.0億円	国庫補助率	7.14/10	
事業規模	延長L=720m 幅員W=5.5(8.5)m (1.5-5.5-1.5)						
事業の立案に至る背景	一般国道341号は、鹿角市を起点とし由利本荘市に至る幹線道路であり、十和田八幡平国立公園と田沢湖・角館の観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有するとともに、生活圏内の主要な地域を連絡する生活道路として重要な路線である。しかし、当該区間は幅員狭小(W=5.5m)で急カーブ(R=25,40,45)が連続しているうえ、急勾配(l=7.2%)のため大型車のすれ違いや幹線道路の機能に支障をきたしており、特に積雪時には路肩堆雪により困難となっている。						
事業目的	冬期における安全で円滑な交通の確保 大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援) 地域住民、道路利用者の安全確保(冬期事故率127件/億台km(県平均41件/億台kmの約3倍)) 冬期孤立可能性の高い地域へのアクセス 十和田八幡平、田沢湖・角館を結ぶ広域的観光支援のためのアクセス整備						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度以降
	事業費		400,000	50,000	100,000	100,000	150,000
	経費 内訳	工事費	263,000		52,000	70,000	141,000
		用補費	73,000	8,000	38,000	26,000	1,000
		その他	64,000	42,000	10,000	4,000	8,000
	財源 内訳	国庫補助	285,600	35,700	71,400	71,400	107,100
		県 債	108,600	13,500	27,100	27,100	40,900
その他							
一般財源		5,800	800	1,500	1,500	2,000	
事業内容			路線測量 用地測量 詳細設計	用地補償 改良工 舗装工	用地補償 改良工 舗装工	改良工 舗装工	
調査経緯	平成15年度 道路概略設計 平成18年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	総合計画「第4期実施計画」における「快適で災害に強い生活基盤づくり」を支援する事業						
関連プロジェクト等	総合計画「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業 県北ブロック計画「豊かな自然環境等を活かした広域観光の推進」を支援する事業 鹿角市総合計画「鹿角観光の受け入れ体勢の充実」を支援する事業						
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間の交通量は、H17センサスではH2の約1.5倍に増加しておりこのままの道路状況ではさらに危険な状態にある。 鹿角市では、鹿角地域の主要観光施設の利用者増加のための冬季誘客支援事業を推進している。						
事業効率把握の手法	指 標 名	消融雪施設等整備率					
	指 標 式	整備済延長/計画延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有	無	
	目標値 a	60%		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	60%					
達成率 b/a	98%		把握の時期	平成21年 4月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	県北部の地域間交流を支える道路であり、バス路線にも指定されている生活道路であるが、急勾配(1=7.2%)で急カーブ(R=25,40,45)が連続し、幅員狭小のため大型車のすれ違いに支障をきたしており、冬期における安全性を早急に確保する必要がある。 H17センサスでは5,436台/日とH2センサス3,700台/日の約1.5倍の増加となっている。 冬期スリップ事故が多発しており早急に整備する必要がある。(H10死亡事故)	19点
緊 急 性	豪雪災害時における緊急確保路線となっている。 冬期孤立可能性の高い地域(トロコ・水沢・熊沢の3地区、122世帯(388人)、高齢化率36%)への影響が大きい。 鹿角市総合計画後期基本計画と連携し、冬期観光客の誘客を支援する事業である。	15点
有 効 性	第二次救急医療施設である鹿角組合総合病院や、高速IC(鹿角八幡平IC)及び冬期観光(八幡平スキー場)へ直接アクセスする。 総合計画第4期実施計画「快適で災害に強い生活基盤づくり」を支援する事業であり、上位計画への貢献度が高い。	23点
効 率 性	既設ロックシェッドを活用するルート計画により、新たな構造物整備の必要がないようコスト縮減を図っている。 交通量は鹿角市蛇沢地点で3,943台/日(H17)であり、除雪区分は1種2車線確保路線(1,000台/日以上)となっている。	13点
熟 度	地元水沢自治会から、路肩及び車道の拡幅要望が出されている。 角館大鰐間国道整備促進期成同盟会から、毎年整備促進要望が出されている。 現道利用を基本とし、保安林の回避及び遺跡への影響を最小にすることで環境保全に配慮している。	13点
判 定	ランク ( ) 判定ランク であり、評価点も83点と高く、早急に事業を実施すべきと考える。	83点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
当該整備区間は、幅員が狭小で急カーブが連続している上、急勾配となっていることから、大型車の交差が困難な状況にある。特に、路肩堆雪が発生する冬期間は、事故率が県平均の約3倍となっており、安全確保に大きな支障をきたしている。以上から、本事業の必要性及び緊急性はともに高く、事業の実施は妥当である。			

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
当該区間は、幅員の狭小、線形不良等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考えられる。			

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
事業の実施は妥当である。			

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 凍雪害防止事業（堆雪帯）

事業コード(H21-建-新-01 )  
箇所名 (鹿角市熊沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	事業の必要性	雪害指定路線である	5	5			
		雪害指定路線でない	0				
	県民ニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	0	0		
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3				
		一般県民を対象とした調査を行っていない	0				
		増大している	5				
	社会情勢変化による需要変化	特に変化はない	3	5	5		
		低下している	0				
		5件該当	15				9
	道路の現状 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・事故が発生（過去5箇年） ・バス路線 ・雪を路外に排出できない	4件該当	12				
3件該当		9					
2件該当		6					
1件該当		3					
該当項目なし		0					
計		30	19				
緊急性		緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線である	5	5		
	指定路線を補充する		3				
	指定路線と関連がない		0				
	事業未実施の影響	周辺への影響等が大きい	5	5	5		
		周辺への影響等が小さい	1				
他事業との関連	関連事業との調整で緊急性が高い	5	5	5			
	関連事業との調整で緊急性が低い	1					
計	15	15					
有効性	期待される具体的効果	緊急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5		
			間接的に補充する	3			
			アクセスへの貢献は小さい	1			
	高速IC、空港、港湾等へのアクセス	直接アクセスする	間接的に補充する	3	5	5	
			アクセスへの貢献は小さい	1			
			直接アクセスする	5			5
	冬期観光施設へのアクセス	間接的に補充する	アクセスへの貢献は小さい	1			
			直接アクセスする	5			
			間接的に補充する	3			
	上位計画への貢献度	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5	5	
施策目標に間接的に貢献する			3				
施策目標とは別のその他関連事業である			0				
市町村合併の推進に貢献する			5	3			
市町村合併の推進には特に影響しない			3				
施策目標とは別のその他関連事業である	0						
計	25	23					
効率性	事業実施コストの縮減	該当項目数	3項目以上	5	3		
			2項目	3			
			無し又は1項目	0			
	交通量	1,000台/日以上	10	10	10		
		500台/日以上1,000台/日未満	8				
		300台/日以上500台/日未満	6				
300台/日未満	0						
計	15	13					
熟度	地元との合意形成の状況	地域住民の事業実施の意向	意向が強く、要件の同意をクリアしている	5	3		
			意向が強く、要件の同意を概ね得ている	3			
			意向が一部で強く、要件の同意を得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し、要望書等の提出がある	5	5	5		
		参画している	3				
		参画していない	0				
環境との調和	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5	5		
		配慮が不十分で、検討している	3				
		特に配慮はない	0				
計	15	13					
合計			100	83			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		